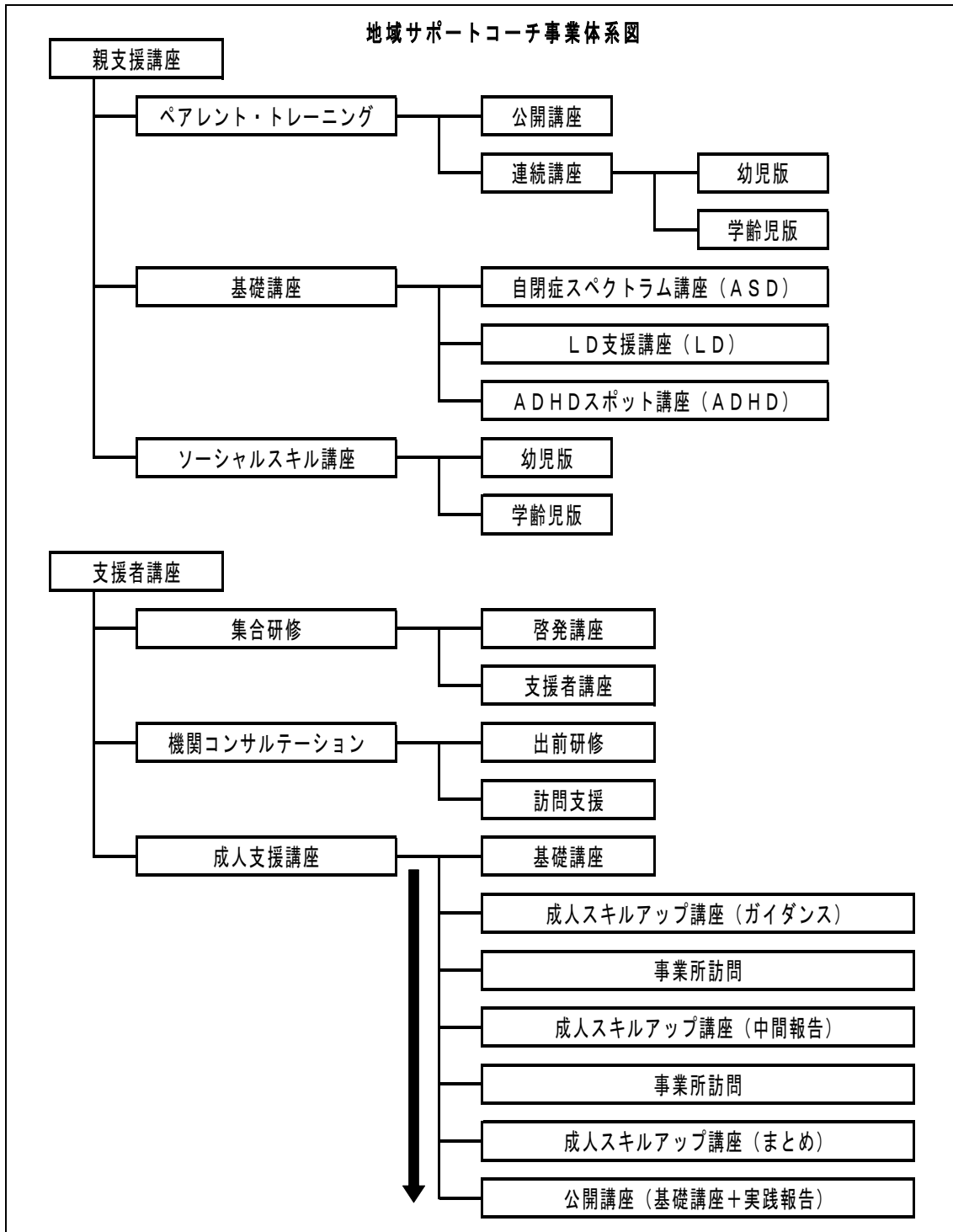


発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化

事業概要

地域サポートコーチ配置し、地域の関係機関・事業所等への啓発・研修・支援、ペアレント・トレーニング等の親支援を実施。



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座**【1】ペアレント・トレーニング**

児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

(1) ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

★実施済み (5回)

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
4月17日	南 地域	37	11	48
7月30日	北 地域	25	33	58
9月4日	中 央地域	29	18	47
10月16日	西 地域	20	8	28
1月14日	東 地域	28	6	34
計		139	76	215

★実施予定 (1回 ペアレント・トレーニング実践報告会)

対象	開催日時	開催場所	内容
保護者 支援者	3月11日(火) 10時～12時	クレオ大阪中央 セミナーホール	基調講演、実施報告、体験談

★アンケート結果 (回収率 95%)

講演内容について	人数
大変参考になった	160
参考になった	44
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
計	204

【感想・意見】

- ・行動分析について再度考える機会になった。ほめる行動を見つめ直したい。
- ・「児童との信頼関係が一番大事な事」がよくわかりました。
- ・児童の当たり前に行っている行動も頑張っていることもあると思うと、ほめて親子の信頼関係を上げていきたい。

(2)ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

★実施済み（幼児5回/クール×2クール、学齢児8回/クール×2クール 計26回）

対象	期間	参加者数		
		保護者	支援者	計
幼児	9/13～11/ 8	9	1	10
	10/ 4～11/29	9	1	10
学齢児	5/14～11/ 5	9	1	10
	5/21～11/12	11	1	12
計	幼児	18	2	20
	学齢児	20	2	22

★実施予定（幼児5回/クール×1クール、学齢児8回/クール×2クール 計21回）

対象	期間	開催場所（予定）
幼児	1/29～3/19	城東区障がい者相談支援センター
学齢児	11/18～3/17	西区民センター
	11/19～3/ 4	愛光会館

★アンケート結果

【参加者】

参加者	修了者	中断者の中断事由
38人	34人	体調不良2人、仕事1人、連絡つかず1人

【感想・意見】

○ペアレント・トレーニング講座を受けて児童に変化があったこと

- ・私が穏やかに言ってあげるとこどもが穏やかになりました。
- ・「お母さんなんかやさしくなった」と言った。自傷行為が減った、なくなった。
- ・自信がついた。「やればできる」と自分の口からできるようになった。
- ・笑顔が増えた。私が優しくなったからと言って、児童も優しくなった。
- ・今までなら何回も言わないと宿題に取り掛からなかったのが1・2回目始めるようになった。イライラすることが減ってきた様な気がします。
- ・ほめた後の表情が豊かになってきた様に思う。しかる事があまりないので、「いけない！」と声をあげてしまう事にしっかり反応するようになったように感じる。
- ・こどもはあまりかわっていないのですが、接する私の態度、言葉、思いが柔らかくなったり具体的になったので、コミュニケーションが取りやすくなりました。

【感想・意見 続き】

- ・新しいことにチャレンジすると本人の口から出るようになりました。自分から「毎日持っていくお弁当を準備する!」「明日の服は寝る前に準備する!」など決めたことに驚きました。
- ・こどもは褒められることが増えたことで、こどもの周りのお友達に優しくできるようになった。

○その他ご意見

- ・1年間「ちょうだい」が出来なかったのに、アドバイスされたようにすると5秒でできたのに感動した。
- ・参加できて本当に助けられたと思います。(自分も児童も) 本当に感謝で気持ちが一杯です。他のお母さん達との出会いもとてもよかったです。
- ・家族にもペアトレを受けてもらいたいと思う。
- ・テンポの良い授業はいつもあつという間で楽しく充実していました。ありがとうございました。税金で負担して頂く事の有難さが身にしみました。
このペアトレは、いじめ防止や虐待防止にも繋がっていくし、将来的には犯罪者の軽減や自殺者の軽減にもつながる。又、一人一人が自立するという意味では経済発展すべてにおいてプラスだと思います。是非とも自信を持って勧めて頂きたい。
- ・ペアトレを受けてこどもの行動をじっくり考えたり、ほめたり、時々うまくいかないこともありながら・・・さらに向き合っていて考えると、ものすごく彼のことを考えていました。改めてこどもの存在が可愛くてたまらなくなりました。こどものことが大好きなんだと改めて親としての思いを感じました。
- ・大きな問題になる前から少しずつ少しずつ良い習慣を重ねることでこどもと自分がものすごく困る前に解決していけるかも・・・と少し自信が持てたのと日々の地道な関わり方がものすごく大切なんだと改めて思いました。成功体験は母子、家族共に楽しく、嬉しい事なのでみんなで笑顔が増え、本当によかったと思います。セッションの中で自分をほめてもらえたことが意外にもすごく嬉しかったです。

○講座で出た意見

- ・ペアトレを受けた母が一人で頑張っている感じがしていたが、父も変わった。父がこどもを褒める機会が増えた。
- ・具体的な対応を教えてもらった。ペアトレを受けていなければどうなっていたのだろうと思う。
- ・物を買ってほしいと言いパニックになっていたが、CCQで言い続けたら我慢することができ、そこで褒めることができた。すごく自信になった。
- ・母自信がこどもの行動を客観的に見れるようになり、自宅で学習する時に具体的に褒め、指導するようにしたら効果があった。それを学校の先生に具体的にこのようにしてほしいと相談したら、今まで協力的でなかった先生が、すんなり実施してくれた。
- ・父から母が変わった、母が変わることができたペアトレは効果があると言われている。
- ・姑さんからこどもがしっかりしてきたねと言われた。
- ・ママ優しくなったねと言われる。自尊心を持てるようになったと思う。
- ・人を大切にすることを身をもって感じられている。安心感をもつ事が出来ている。自分のいいところを知ってくれた。

ペアレント・トレーニング《区役所版》の試行について

1. ペアレント・トレーニングの目的

子どもの行動を理解し、行動療法に基づく効果的な対応法を学ぶことにより、よりよい親子関係づくりと子どもの適応行動の増加を目指す。

2. 区役所版の目的

平成 25 年度より大阪市発達障がい者支援センターが実施しているペアレント・トレーニング（幼児版）を次の目的により区役所において試行する。

- ① 区保健福祉センターで行われている母子保健業務・子育て支援業務にペアレント・トレーニングが加わることにより、支援内容の充実を図る。
- ② 保護者にとって身近で利便性が高く、安心できる場所である区役所で実施することにより、地域的な繋がりのある保護者同士が共感し、共に支え合い育児等に取り組むことができるようになる。

3. 内容

- ① 人数 5 名～10 名
- ② 回数 1 クール 5 回
- ③ 参加費用 無料
- ④ 対象者 発達障がいと診断された、又は疑いのある児童（未就学児）の保護者
- ⑤ 実施時期 平成 25 年度下半期にオリエンテーションを兼ねた体験版ペアレント・トレーニング講座を実施し、平成 26 年度上半期にペアレント・トレーニングを試行する。

4. 役割分担

	区 役 所	エルムおおさか
事業の位置づけ	○ * 1	○
会場準備（事前予約）	○	
対象者への周知・選定	○	
保育（実施する場合）	○ * 2	
講座運営（資料作成含む）		○
当日会場設営・後片付け等		○
講座中の保護者への連絡等		○

※ 1 区保健福祉センターの保健師が行っている集団指導の一環・子育て支援室が行っているグループ指導の一環という位置づけをお願いしたい

※ 2 実施しない場合は、相談のあった保護者に必要に応じてファミサポや一時保育を紹介する。実施する場合は、スタッフや保険の対応が必要

5. 試行結果の検証

発達障がい者支援室と区保健福祉センターが共に試行の結果を検証し、効果や今後の展開について検討を行う。

支援室

ペアレント・トレーニングの実施前及び実施後に「家族の自信度アンケート」により保護者の養育に関する不安の軽減や自信の回復度について検証する。また保護者に参加後の感想をアンケート調査する。

支援室・区

区役所で実施したことに対する保護者の実感、区保健福祉センターにおける支援との連続性・連携効果

6. 体験版ペアレント・トレーニング講座実績

★実施済み（2回）

日程	実施区	参加者数
1月24日	港区保健福祉センター	7
2月27日	城東区保健福祉センター	11
計		18

参加された方の状況等

- ・ 診断済みの人だけでなく、今後受診予定の人も参加
- ・ 保護者の障がい受容も様々
- ・ 開始直後は子育てが辛く泣く母もいたが、他の参加者から皆同じように辛いのだと聞き終了時には笑顔になっていた。
- ・ 試行後は家庭児童相談員でフォロー

【2】基礎講座**(1) 自閉症スペクトラム障がい講座 (ASD)**

「自閉症スペクトラム障がいのある児童の理解と支援」をテーマに、作業療法士から特性や環境調整について講演し、家庭での取り組み方法を学習する。

★実施済み (4回/クール×3クール 計12回)

内容	期間	会場	参加者数 (延べ)		
			保護者	支援者	計
・感覚と運動の視点から ・環境づくり ・気になる行動の考え方 ・不器用さへの支援	6/11・18 7/2・9	市民交流センター東淀川	68	36	104
・特徴と支援 ・得意な事、苦手な事 ・支援の手立て ・家庭としてできること	9/7・14 9/21・28	子育ていろいろ相談センター	73	0	73
・感覚と運動の視点から ・環境づくり ・気になる行動の考え方 ・不器用さへの支援	11/12・19、 12/3・10	阿倍野区民センター	49	19	68
計			190	54	245

★実施予定 (4回/クール×1クール 計4回)

内容	期間	開催場所
・特徴と支援 ・得意な事、苦手な事 ・支援の手立て ・家庭としてできること	2/1・8・15・22	子育ていろいろ相談センター

★アンケート結果

【講演内容について】(回収率 60%)

内容	人数
大変参考になった	99
参考になった	38
あまり参考にならなかった	3
参考にならなかった	0
回答なし	7
計	147

【感想・意見】

- ・気になる行動が何からきているのか(感覚など)がよくわかりました。
- ・事例や支援のヒントも教えて頂き、取り入れられることは試してみたいと思います。
- ・来て良かった。こうすれば良いと思っても具体的にはわからずにいたので。
- ・「見てわかる」工夫。「姿勢」の大切を理解することができました。

(2) LD支援講座 (LD)

学習のつまづきや宿題への対応など、児童の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講義をうけ、学習する。

対 象：学齢児の保護者、支援者

回 数：2回連続

★実施済み (2回/クール×1クール 計2回)

内容	期間	参加者数 (延べ)		
		保護者	支援者	計
学習のつまづきや宿題の対応等、学習支援のポイントについて	7/4・11	80	59	139

★アンケート結果

【講演内容について】(回収率 88%)

内容	人数
大変参考になった	77
参考になった	44
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	0
計	122

【参加された保護者の児童の年齢】

5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳
7%	39%	18%	18%	2%	2%	7%	7%

【感想・意見】

- ・児童の学習での疑問や困り感がわかった
- ・具体的な支援方法がわかり大変役に立ちました
- ・疑似体験がとてもよかった。わかっているつもりだったと気づいた。児童目線で一緒に生活していきたい。
- ・教材についても職場で紹介していきたい。
- ・大きくなった時にどのような場面に遭遇するのか不安

希望する講座

- ・友達との関わり方のような講座
- ・児童の年齢が中学、高校生対象の講座

(3) ADHDスポット講座 (ADHD)

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時にもっている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

★実施済み (1回講座)

内容	期間	参加者数		
		保護者	支援者	計
ADHDの診断を受けた児童への関わり方について	10/28	21	44	65

★アンケート結果

【講演内容について】(回収率 86%)

内容	人数
大変参考になった	48
参考になった	7
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
回答なし	1
計	56

【感想・意見】

- ・普段わかっているつもりがいい加減な知識だということ認識できた。明日からの指導に役立てることが出来ます。
- ・今まで児童への対応に関し、これで良いと思っていたことの見直しになりました。
- ・これまでの自分の保育を考えながら聞くことができました。自己肯定感の大事さを改めて確認することが出来良かったです。
- ・ついつい叱ってしまった自分を振り返ることが出来ました。今後講座の内容を家で実践していきたいと思います。
- ・「できたこと」「成功したこと」に目を向け、ほめるところを探す日々でしたが、「出来ていることをほめる」を聞きたくさん思い浮かびました。もう一度しっかり考えて関わっていこうと思います。

【3】ソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばよいのか、家庭での取り組み方法を学習する。

★実施済み（幼児3回/クール×2クール、学齢児3回/クール×2クール 計12回）

区分	内容	期間	参加者数（平均）		
			保護者	支援者	計
幼児版	幼児期で身に付けたソーシャルスキルについて	6/10・17・24	10	12	22
		11/7・14・21	11	6	17
学齢児版	小学校で身に付けたいソーシャルスキルについて	5/13・20・27	13	0	13
		9/9・19・30	15	5	20
計			49	23	72

★実施予定（学齢児3回/クール×1クール 計3回）

区分	内容	期間	開催場所
学齢児版	小学校で身に付けたソーシャルスキルについて	3/3・10・17	未定

★アンケート結果（回収率 76%）

内容	人数
大変参考になった	41
参考になった	9
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	0
無回答	4
合計	55

【感想・意見】

- ・何をポイントに伝えれば良いのか、大人が良き見本となることの大切さを再認識することが出来ました。禁止だけではなく、肯定的な伝え方で言い換える方法について、スタッフに研修で学んだことを共有して、利用者さんの良きサポートが出来るようにしたいと思います。
- ・具体的な事例をまじえた分かりやすい講座で、実際に支援にどんどん取り入れて活かしていきたいと思います。
- ・来年、小学校に向けて、就学相談など色々な場面で役立てていきたいです。

支援者講座**【1】 集合研修****(1) 啓発講座**

民生委員・児童委員や地域女性団体協議会など、地域で活動されている団体等の市民向け講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

★実施済み（ 30回 ）

対象	内容	会場	日程	参加者数
一般市民	「発達障がい」って何やねん	西区	4/ 5	30
	成人の支援について	平野区	9/ 3	7
	発達障がい基礎講座	西区	10/22	55
	人権講演会	中央区	12/ 6	130
当事者・保護者 団体等	事業所保護者研修	平野区	5/23	50
	親の会勉強会	中央区	5/31	25
	当事者・保護者サロン	淀川区	7/15	7
	当事者研修	東住吉区	11/23	75
	育成会	天王寺区	12/13	32
区社協	発達障がい基礎講座	天王寺区	9/24	20
家児相研修		北区	10/28	13
区青少年育成会		平野区	11/20	24
地域女性団体協議会		生野区	11/22	55
区自立支援協議会	発達障がい基礎講座	浪速区	9/25	10
		西区	11/09	23
		旭区	1/14	22
		住之江区	1/29	31
私保連ブロック	発達障がい基礎講座	東部	11/15	67
私立保育園園長		城東区	11/20	16
北区子育て支援室 (保育所関係研修)		北区	1/16	38
			1/27	47
家児相・保健師 心理士・保育士 事務等の市職員	発達障がい基礎講座	阿倍野区	11/6	10
	支援者向け基礎編	鶴見区	12/11	79
	基礎講座＋支援者向け基礎編	東成区	12/16	13
		住之江区	1/31	30
事業者向けブロック 別講座	発達障がい基礎講座	東ブロック	1/20	21
		南ブロック	1/21	27
		西ブロック	1/22	18
		北ブロック	1/23	49
		中央ブロック	1/23	33 夜間
合 計				1057 人

★実施予定（7回）

対象	内容	会場	日程	備考
区自立支援協議会	発達障がい基礎講座	西成区	2/27	
		生野区	3/18	
民生委員・児童委員	発達障がい基礎講座	全域	2/18	午前・午後
			2/19	
			2/20	午後・夜間

(2) 支援者講座

発達障がいのある児童生徒及び家族の支援者を対象に、発達障がいの基礎知識と支援方法についての講義、集団参加、コミュニケーションの問題や特性に合わせた関わり方の講義を通じて支援や指導方法について学習する。

★実施済み（2回）

内容	日程	参加者数		
		行政	行政以外	計
発達障がいの基礎知識と支援方法 (集団参加)	8/5	6	70	76
発達障がいの基礎知識と支援方法 (コミュニケーション)	8/26	8	130	138
計		14	200	214

★アンケート結果（回収率 92%）

【講座内容について】

内容	人数
大変参考になった	91
参考になった	76
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
無回答	31
合計	198

【感想・意見】

- ・これは使えるというヒントをたくさん頂きました。
- ・現在出会っている児童たちの困り感の行動の書き出しから、その子の機能的課題をまずしっかり把握しておくことが不十分であったと感じました。
- ・自分のクラス実態と重ね、今後どうすべきか考えることができました。
- ・対応の仕方のレパトリーが増え、これからは活かしたいと思います。
- ・保護者への説明とか対応能力が向上できる機会を頂き有りがたいです。
- ・やみくもにしていたので反省しています。
- ・自分の態度が児童の見本となるので、自分の行動を見つめなおす機会になりました。

【2】機関コンサルテーション

(1) 出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施済み (45回)

対象	内容	日程	参加者数
児童発達支援 放課後等デイサービス事業所	発達障がい基礎講座	4/22	12
		10/ 4	20
		10/31	10
		11/25	12
		12/3	6
		12/18	3
		1/22	10
		1/21	18
就労支援機関 青年期支援機関	発達障がい基礎講座	4/25	30
		6/21	25
		7/22	51
		10/23	5
		10/24	7
		12/ 7	29
		12/13	3
		12/20	11
保育園	発達障がい基礎講座	4/26	10
		7/31	18
		9/20	15
		11/19	16
		11/27	40
		12/11	13
		12/21	70
		12/26	7
幼稚園	発達障がい基礎講座	5/13	5
小学校 特別支援学校	発達障がい基礎講座	6/26	30
		8/ 1	60
障がい者支援施設	発達障がい基礎講座	11/ 1	24

次頁続く

前頁続き 出前研修実施済み			
対象	内容	日程	参加者数
区障がい者相談支援センター	発達障がい基礎講座	10/18	6
		11/13	23
		11/15	14
		12/14	21
		1/27	9
生活介護事業所	発達障がい基礎講座	11/26	6
		12/ 5	11
		1/11	6
		1/20	18
		1/11	15
		1/31	10
居宅介護事業所	発達障がい基礎講座	11/20	5
		11/28	34
		11/30	13
		1/10	21
グループホーム・ケアホーム	発達障がい基礎講座	12/25	27
合 計			813 人

★実施予定 (4 回)

対象	内容	日程	参加者予定
多機能型事業所	発達障がい基礎講座	2/17	40
多機能型事業所	発達障がい基礎講座	3/17	40
生活介護事業所	発達障がい基礎講座	2/07	15
居宅介護事業所	発達障がい基礎講座	2/21	未定

(2) 訪問支援

★実施済み (276 回)

再掲 平成 26 年 1 月末現在

区分	回数
私立保育園	185
障がい児通所施設	10
教育機関	2
区 保健福祉関係	12
その他 大阪市関係	1
当事者団体	1
青年成人期支援機関	63
障がい者相談支援機関	2
計	276

【3】成人支援講座

(1) 成人スキルアップ講座

- ①基礎講座
- ②基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所（3～5事業所）をモデルに、年2～3回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス講座・中間報告会・スキルアップ講座まとめを行い、スキルアップを目指す。
- ③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

☆成人スキルアップ講座の流れ

○成人支援基礎講座

成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

○ガイダンス講座

機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

第1回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際には助言内容実施後の変化の状況を共有し、必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバック。

○中間報告会

各事業所2回のコンサルテーションの実施を踏まえ、課題点の整理とコンサルを受けて施設内で物理的構造化、環境設定、対応方法等をどのように取り組んだか、また、成果として施設内での利用者及び支援者にどのような変化が見受けられたかなどを、発表を基に最終コンサルテーションの方向性を明確化する。

○成人スキルアップ講座まとめ

2回の訪問コンサルテーションを踏まえるとともに、施設独自の取り組み内容を整理し、実践報告会として実施する講座（2/8 予定）までに追加で実施したこと等、支援の方向性、コンサルテーションの必要性を確認する。

○公開講座：基礎研修＋実践報告（2/8 予定）

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、希望施設を募る。

※ 次年度に関しては、高機能の発達障がいの方を支援している事業所も視野に入れ実施を検討

(2) 成人スキルアップ講座の各講座の実施状況

①基礎講座

★実施済み (1回)

内容	開催日	参加者 内訳				計
		行政	事業者	家族・本人	未記入	
自閉症スペクトラムを中心に	5/29	25	62	17	17	121

②ガイダンス講座

★実施済み (1回)

内容	開催日	参加者
コンサルテーションの意義等	6/25	4施設 10人

③中間報告会

★実施済み (2施設ごとに1回として、2回実施)

内容	開催日	参加者
取組内容や成果から今後のコンサルテーションの方向性を明確にする	10/1	2施設 10人
	10/4	2施設 10人

④成人スキルアップ講座まとめ

★実施済み (1回)

内容	開催日	参加者
取組内容の整理、支援の方向性、コンサルテーションの必要性など	12/10	4施設 14人

★①基礎講座参加者アンケート結果 (回収率 80%)

【講座内容について】

内容	人数
大変参考になった	68
参考になった	23
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	0
未記入	5
合計	97

【感想・意見】

- ・原因に目を向けるのが大事だと感じた。問題行動を考える上で、ワークシートが参考になった。
- ・進むべき道、支援方法を改めて作り上げていく必要性を感じた。
- ・年々大きくなる息子をみながら、充実した生活や彼の出来る力を引き出すことを考える日々でしたが、とてもポジティブに先生が背中を押してくださいました。
- ・本人の障がいを理解すること、本人にとってどうかと言うことを見極めることの大切さを改めて実感しました。

【スキルアップ事業の実施状況】

事業所	対象者の概要・課題点	コンサル内容 1回目	コンサル内容 2回目
A 就労継続 B 生活介護	療育手帳A 自閉症 作業時間中の指示の教 示方法や、不適切行動 (落書き)、パニックに 陥った際の対応方法	作業中のホワイトボードへの不 適切落書き→自分で消せたら評 価(ほめる) 作業中のミスについて、過度な 反応があるため、「大丈夫」カー ドを見せつつ声かけする。	評価ツール(TTAPの簡易 版)を使用し、本人の評価セ ッションを実施。 課題に関してほとんど遂行 可能だが、言語によるコミュ ニケーションに関し細かい 部分は伝わらない様子。
B 生活介護	療育手帳A 自閉傾向 日中活動にのれない。 破壊行動、通園バスに乗 れない。	送迎バス→所内作業空間への移 動に関してスムーズにいかない 点について、スケジュールを提 示しながら活動場所への誘導を 実施。 次回評価セッションを実施し理 解力について確認	評価ツール(TTAPの簡易 版)を使用し、本人の評価セ ッションを実施。 平仮名等は読め、言語理解も 複雑でなければ可。 現物提示・見本提示では作業 遂行可能。
C 就労継続 B 生活介護	療育手帳A 自閉症 作業にのりにくい。遅延 エコラリア(好きな歌手 や思い出の場所などの 繰り返し発言)	対象者が作業空間から出てきた 場合の職員の共通スタンスを決 める。	8月に事業所内での人事異 動によりスタッフが変わり、 通所もままならない状況。以 前のコンサル前の状態に戻 れるよう再度枠組みを構築 することに。
	療育手帳B1 自閉症 通所当初は真面目に作 業遂行可能→伏せてい る状況が多く見られる	ワークシステムの導入作業時間 の見通しと決められた作業が終 われば終了と言う点を設定。	行動動線の中に作業を組み 込む、作業遂行終了できるよ う10秒程度で終わるものを 複数用意する。
D 施設入所 支援	療育手帳A 重度自閉 症 入浴後から就寝ま での間の活動が上手に 過ごせず、「お茶の要求」 の過多。自立課題は実施 している。	自立課題については遂行できて いるが入浴後3時間という長時 間のため、施設の日課も要検討。	ワークシステムの利用によ り自立課題の遂行は出来て いる。入浴後の更衣が出来な い状況のため、トランジショ ンエリアの設定等助言。
	療育手帳A 広汎性発 達障がい 居室内特定箇所への排 尿行為	視覚的手がかりが全くない関わ りのため、構造化を実施	居室のレイアウト変更、排尿 の促しをする。また好ましく ない箇所での禁止を表示す るが、別の場所でもするため、 ポータルトイレ等の設置 を助言。

(3) 成人支援公開講座（基礎講座＋実践報告）

発達障がいのある成人期の支援について、必要な基礎知識の講義に加え、成人スキルアップ講座での実践報告から具体的支援方法について学習する。

★実施予定（1回）

対象	内容	日程	開催場所
成人期支援に携わる事業所・支援者・家族	基礎講座 実践報告会	2/8	クレオ大阪北